



岩間 泰彦 議員

## お金の入る施策とは

### 質問

市の面積は約6千663haで、そのうち、市街化区域は4.7%と少ない。

それゆえ、佐屋駅、永和駅、勝幡駅など駅周辺地区から半径何百mほどを市街化区域とするように方向づけをし、次の見直し時期までに線引きの見直しを検討し、絵を作成しただけか。

また、市街化区域の比較として、佐屋地区、佐織地区では何%か、周辺の津島市、弥富市、蟹江町、あま市では何%か。

### 経済建設部長

本市において、市街化区域の拡張は必要と考えており、都市計画を見直し、次回見直しの平成33年に要望などをしていく。

旧佐屋地区では1千865haで8.47%、旧佐織地区では1千112haで14.11%。周辺市町の市街化率は、津島市26.55%、弥富市20.69%、蟹江町で37.56%、あま市で41.65%。

### 質問

県のホームページの税制上の優遇制度の案内には、名古屋

屋市をはじめ、弥富市を含む22市3町1村の企業誘致条例が掲載されている。さまざまな制度を調整・研究しながら、市に可能な優遇制度を検討しては。

### 経済建設部長

現在、企業に対する契約金や優遇制度の条例などは設けていないが、今後、企業誘致を進めていく上で、他市と同程度の優遇制度の条例制定は必要と考えている。

準備しているので、必要な時期に対応したい。

### 質問

佐屋駅前の整備と安全対策で調査費がついたが、ぜひとも、本格的に整備する際には、観光案内所、観光案内板およびバスストップは計画の中に織り込むよう要望する。

佐屋駅から佐屋宿、三里の渡し、古本江城址、道の駅「立田ふれあいの里」經由木曾川渡船、船頭平閘門は、点と点を結ぶ線となる、人を呼ぶことができるまちづくり、観光の目玉、観光のコースだ。

愛西市ふれあいのマップはあるが、絞り込んだ観光マップを作成しては。また、案内板および表示板についても、人の集まるところに特化して整備しては。

### 経済建設部長

佐屋駅から道の駅經由船頭平閘門だけのマップを作成する計画は現在のところない。また、案内板の設置については、状況に応じた対応も必要と考えている。

## 文化財の保護と観光政策は

### 質問

郷土の歴史・文化に対する市長の認識と考えは。

### 市長

市については貴重な史跡や文化、多くの歴史があり、次世代に語り継いでいく責任がある。

### その他の質問

・安心・安全快適なまちづくり整備



佐屋街道・佐屋宿の現風景(愛西市佐屋町本町通り)